

# 「市民による市政評価」

(平成18年度施策・事業に対する第二次評価)

## 結果報告書

平成19年9月

企画部総合政策課

## 目 次

I	調査の概要	-----	1
	1. 調査の趣旨、目的	-----	1
	2. 調査方法	-----	1
	3. 回収状況	-----	1
II	結果の分析方法	-----	2
	1. 回答者の特徴の把握	-----	2
	2. 集計方法、判定方法について	-----	2
III	回答者の特徴	-----	4
	1. 母集団との比較	-----	4
	2. 回答者の特徴	-----	4
IV	評価の結果	-----	5
	1. 「市民による市政評価」の結果	-----	5
V	まとめ	-----	2 0
	1. 評価の変化について	-----	2 0
	2. 手法としての 「市民による市政評価」の今後	-----	2 3

# I. 調査の概要

## 1. 調査の趣旨、目的

市の施策が市民の日常の問題意識と合致しているかを検証するため、平成18年8月、「市民による市政評価」の一次調査を実施しました。一次調査は、各分野における市民の現状に対する満足度と18年度の主要事業のうちから新規、拡充を含む26事業について、事務事業の有効性（期待度）に対する市民の意見を求めました。

一次調査が「これから行う取り組みや現在行っている取り組み」について意見を求めたのに対し、二次調査は一次と同一の事業について結果や進捗状況を報告し今後の継続の必要性の意見を求めるものであり、一次調査の延長上にあります。

「市民による市政評価」は、市民の意見を事業遂行に反映させることを目的としますが、こうした意見収集の手法それ自体が、市民に興味、関心を持っていただけるか確認することも目的の一つです。

## 2. 調査方法

- (1) 調査対象 一次調査における記名回答者391人
- (2) 調査方法 郵送アンケート
- (3) 調査時期 平成19年5月10日（発送）～5月25日（回収期限）

## 3. 回収状況

一次調査は、1,000人への発送に対し有効回答者は427人、回収率は42.7%であり、うち、記名回答者は391人でした。

二次調査は、一次調査での記名回答者391人に発送し、有効回答者は283人、回収率は72.4%でした。

(表1)地域別の回収状況

	発送数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
全 体	391	283	72.4
内 訳	1. 大曲	115	74.7
	2. 神岡	22	84.6
	3. 西仙北	29	67.4
	4. 中仙	29	69.0
	5. 協和	23	57.5
	6. 南外	17	77.3
	7. 仙北	25	71.4
	8. 太田	20	69.0
	0. 無記入		3

(表2)年代別の回収状況

	発送数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
全 体	391	283	72.4
内 訳	1. 20代	17	54.8
	2. 30代	29	65.9
	3. 40代	36	59.0
	4. 50代	83	83.8
	5. 60代	69	71.1
	6. 70代	46	88.5
	0. 無記入	3	

## Ⅱ. 結果の分析方法

### 1. 回答者の特徴の把握

二次調査は無作為抽出とはいえ、そのため元々の母集団（20歳～74歳の大仙市民）に対する回答者の構成を確認し、回答者の偏りを把握する必要があります。

### 2. 集計方法、判定方法について

比較のため、集計方法等は一次と同一とします。主な点は以下のとおりであります。

#### (1) 集計方法

回収した調査票は、「必要」「ある程度必要」等それぞれの選択肢を選択した人数について、回答者全体の集計を行います。

#### (2) 集計の判定

それぞれの選択肢に重みを付けた加重平均を算出し、それに対応した3区分のアルファベットで表記します。

##### ① 選択肢の重み

必要	5点
ある程度必要	4点
どちらでもない	3点
あまり必要ない	2点
必要ない	1点

##### ② 算式

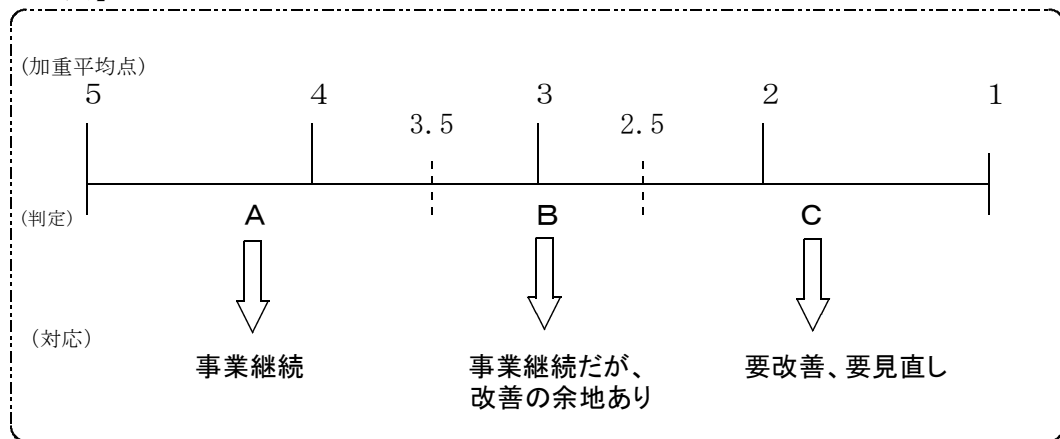
$$\begin{aligned} \text{加重平均点} = & \left[ \frac{\text{「必要」を選択した人数} \times 5点 + \text{「ある程度必要」を選択した人数} \times 4点}{\text{総回答者数} - \text{未記入者数}} \right. \\ & + \frac{\text{「どちらでもない」を選択した人数} \times 3点 + \text{「あまり必要ない」を選択した人数} \times 2点}{\text{総回答者数} - \text{未記入者数}} \\ & \left. + \frac{\text{「必要ない」を選択した人数} \times 1点}{\text{総回答者数} - \text{未記入者数}} \right] \div (\text{総回答者数} - \text{未記入者数}) \end{aligned}$$

(小数点以下3位まで)

③期待度の判定とそれに対する対応

加重平均点の範囲	判定	判定に対する対応
$5.000 \geq \text{加重平均点} > 3.500$	A	事業を継続
$3.500 \geq \text{加重平均点} > 2.500$	B	基本的に継続だが、改善の余地がある
$2.500 \geq \text{加重平均点} \geq 1.000$	C	改善が必要、又は事業の再構築を含め見直しが必要

【イメージ図】



### Ⅲ. 回答者の特徴

#### 1. 母集団との比較

##### (1) 地域別状況

	母集団(20歳以上75歳未満) (平成17年10月1日現在)		二次調査回答者	
	人数	構成比	人数	構成比
大曲地域	26,532	41.1	115	40.6
神岡地域	3,996	6.2	22	7.8
西仙北地域	6,958	10.8	29	10.2
中仙地域	7,758	12.0	29	10.2
協和地域	5,834	9.0	23	8.1
南外地域	2,994	4.6	17	6.0
仙北地域	5,415	8.4	25	8.8
太田地域	5,018	7.8	20	7.1
未記入		0.0	3	1.1
計	64,505	100.0	283	100.0

##### (2) 年代別状況

	母集団(20歳以上75歳未満) (平成17年10月1日現在)		二次調査回答者	
	人数	構成比	人数	構成比
20, 30歳代	17,467	27.1	46	16.3
40, 50歳代	27,012	41.9	119	42.0
60, 70歳代	20,026	31.0	115	40.6
未記入		0.0	3	1.1
計	64,505	100.0	283	100.0

##### (3) 男女別状況

	母集団(20歳以上75歳未満) (平成17年10月1日現在)		二次調査回答者	
	人数	構成比	人数	構成比
男	31,075	48.2	124	43.8
女	33,430	51.8	152	53.7
未記入		0.0	7	2.5
計	64,505	100.0	283	100.0

※母集団の人数は、平成 17 年度国勢調査の速報値です。

#### 2. 回答者の特徴

- (1) 地域別では、概ね母集団の特徴を維持しています。
- (2) 年代別では、20,30 歳代の回答が少なく、60,70 歳代の回答が多くなっています。
- (3) 男女別では、男性の回答が少ないことがわかります。

## IV. 評価の結果

### 1. 「市民による市政評価」の結果

#### 1. 安心して健やかに暮らせるまちづくりを進める(健康福祉)

##### ○1-1 乳幼児、就学児(小児)医療費の市独自助成事業について

●前回評価いただいた、取り組み内容です。	●左の取り組み実績(平成18年度末状況)
<p>市では県の福祉医療制度を拡大し、0歳から小学生までを対象に全額を助成しています。                      厳しい財政事情ですが、この制度を今後も継続していくため、高所得世帯者に市独自の所得制限を導入します。</p>	<p>平成18年8月1日から市独自の所得制限を導入しています。導入により対象者の17.8%、1,373人が非該当となり、約28,000千円が減額されました。                      また、現在の医療制度を拡大し10月1日から、国で指定した小児慢性特定疾患及び特定疾患の治療にかかる医療費の自己負担額を助成する制度を新設しました。この制度は、父母及び世帯の所得に関係なく20歳になるまで助成することとしており、県内では初めての試みです。                      (平成17年12月現在で、小児慢性特定疾患が55名、特定疾患が11名います。)                      なお、助成実績額は福祉医療と特定疾患合わせて、172,080千円です。</p>

##### ●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点 4点 3点 2点 1点					未記入	計	加重平均点	今回判定	前回判定
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない					
実数	116	138	18	7	3	1	283	4.266	A	A
構成比	41.0	48.8	6.4	2.5	1.1	0.4	100			

##### ●市民からの主な記述意見

- ・医者へ通う人の個人差が大きいと思うので、全員が食べる給食費への補助とかの方が平等ではないか。
- ・小さい子供に対する補助は多少苦しくても進めてほしい。
- ・子供の福祉とかに必要以上に予算をかけている。親がやるべきことです。子供がいっぱい生まれることとは関係ないと思う。

##### ○1-2 すこやか子育て手当金支給事業について

●前回評価いただいた、取り組み内容です。	●左の取り組み実績(平成18年度末状況)
<p>県では0歳児を対象に所得制限を設けて実施していますが、市では1歳児まで制度を拡大して支援しています。                      厳しい財政事情ですが、この制度を今後も継続していくため、福祉医療費受給者証を有する者の保護者に対し支給します。</p>	<p>すこやか子育て手当金として、月額1万円を6月・12月・2月に支給しました。                      支給対象者は1,852人、支給実績額は142,570千円です。(このうち、県補助金(0歳児分)は27,650千円です。)</p>

##### ●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点 4点 3点 2点 1点					未記入	計	加重平均点	今回判定	前回判定
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない					
実数	112	131	15	16	8	1	283	4.145	A	A
構成比	39.6	46.3	5.3	5.7	2.8	0.4	100			

##### ●市民からの主な記述意見

- ・厳しい財政事情とありますが、子育て政策にはあまり好ましくない言葉である。
- ・少子化が急速に進んでいます。育てやすいよう幼児、児童、生徒には手厚い支援が必要となります。

### ○1-3 地域児童健全育成推進事業について

●前回評価いただいた、取り組み内容です。

日中、両親が家庭にいない児童を対象として、放課後児童クラブを13か所に設置しています。  
18年度は、新たに大曲地域に1か所増設と太田地域に1か所新設します。19年度は南外地域にも設置を予定しています。

●左の取り組み実績(平成18年度末状況)

放課後児童クラブは、平成18年度に大曲地域に1か所増設と太田地域に1か所新設し、大曲地域と協和地域で5か所、神岡、西仙北、中仙、仙北、太田の各地域で1か所の計15か所で実施しました。  
なお、南外地域には平成19年度に新設する予定で準備を進めています。  
また、大曲地域(5クラブ)、中仙地域(3クラブ)、南外地域(3クラブ)、仙北地域(1クラブ)の母親クラブに対して、2,151千円の助成を行いました。

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
実数	151	100	20	11	1	0	283
構成比	53.4	35.3	7.1	3.9	0.4	0.0	100

加重平均点	今回判定	前回判定
4.375	A	A

●市民からの主な記述意見

- ・親の甘えを助成しかねない。
- ・親が安心して働けるような取り組みは、子供を持つ家庭には、とても喜ばれているようです。これからも若い人達が安心して子育てできるような取り組みを続けていただきたいと思います。
- ・放課後児童クラブのあり方について考えさせられる。少子化の中、児童クラブの人数だけが増えている。子育ては、本当は楽しいこと尊いことだから、何か楽しい、嬉しくなるような子育ての啓蒙活動のようなものも必要と感じる。

### ○1-4 敬老の日事業について

●前回評価いただいた、取り組み内容です。

長寿祝いの年齢である77歳、80歳、88歳、99歳等の高齢者に祝い金を支給します。100歳の高齢者には、誕生日に50万円(施設入所者には25万円)を支給します。  
また、対象者を75歳以上の高齢者に統一して、各地域や地区ごとに敬老会を実施します。

●左の取り組み実績(平成18年度末状況)

長寿祝金支給対象者2,813人(77歳:1,247人、80歳:1,136人、88歳:384人、99歳:22人、100歳:10人、101歳以上:14人)に対して、40,090千円の祝い金を支給しました。  
また、敬老会を各地域実行委員会等14団体に委託し、市内23か所で実施しました。対象者14,689人のうち出席者は5,278人で、出席率は35.93%、事業費は35,454千円でした。

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
実数	68	105	40	54	15	1	283
構成比	24.0	37.1	14.1	19.1	5.3	0.4	100

加重平均点	今回判定	前回判定
3.557	A	A

●市民からの主な記述意見

- ・長寿祝い金はいいとして、敬老会の実施は出席率を見る限り良いとは言えない。もう少し考えるべきだ。
- ・老人の祝い金制度は、あまり必要ないと思う。それよりも、病気したときの紙おしめ代等にまわしてほしい。
- ・高齢者の娯楽ではなく安全・安心な生活のためにお金を使って欲しい。



○1-5 温泉ふれあい入浴サービス事業について

●前回評価いただいた、取り組み内容です。

市内の公共温泉施設利用時に、70歳以上の高齢者等に対し年齢に応じて、入浴料の割引もしくは無料券を年間24枚交付します。

●左の取り組み実績(平成18年度末状況)

高齢者及び身体障害者手帳等所持者22,201人に対して、年間24枚の半額券と無料券を交付しました。  
18年度の利用枚数は、半額券48,088枚、無料券22,489枚で助成実績額は12,672千円です。

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない		
実数	56	88	42	58	39	0	283
構成比	19.8	31.1	14.8	20.5	13.8	0.0	100

加重平均点
3.226

今回判定
B

前回判定
B

●市民からの主な記述意見

- ・病気予防対策や病気になったときの支援の方がベターです。
- ・券をもらっても温泉まで行く足が無く利用できないという声もある。
- ・車の運転ができないため、孫や娘達に頼んで送り迎えしてもらっている。その人達にも割引券を出してほしい。

## 2. 未来(あす)を創り心豊かな人を育むまちづくり(教育)

### ○2-1 小中学校芸術鑑賞事業について

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>児童生徒に優れた舞台芸術等の鑑賞機会を市内の大ステージ付き施設（市民会館等）で、小中学校ごとに同じ演目で提供します。 会場は、大曲市民会館、ドンパル（中仙）、和ピア（協和）の3か所とし、児童生徒の負担は1,000円で残りは市が負担します。</p>	<p>●左の取り組み実績(平成18年度末状況)</p> <p>児童生徒に優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、豊かな情操の涵養を図るとともに健全な育成に資するため、小学校は6月20日から23日まで、中学校は6月27日から30日まで、小中学校ごとに同じ演目で実施しました。（事業費10,266千円） なお、演目については次のとおりです。 ・小学生 演目「ハンスと大悪魔」劇団「芸優座」 ・中学生 演目「パパはマジシャン」劇団「芸優座」</p>
--	---

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点      4点      3点      2点      1点					未記入	計	加重平均点	今回判定	前回判定
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない					
実数	99	125	35	15	6	3	283	4.057	A	A
構成比	35.0	44.2	12.4	5.3	2.1	1.1	100			

●市民からの主な記述意見

### ○2-2 体験的学習時間支援事業について

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>小中学校における各教科等（総合的な学習の時間を含む）での体験的学習を通して、身につける学力の定着や向上を図ります。 1校あたり30万円＋人数割り加算の予算で事業を実施します。</p>	<p>●左の取り組み実績(平成18年度末状況)</p> <p>全ての教科の領域において体験的な学習があり、各小中学校ごとに活動テーマ（例：昔の遊び体験、凧作り、ふるさと探検など）を設定し実施しました。 1校あたり30万円＋人数割り加算の予算で、補助金として各小中学校に交付しました。（事業費18,274千円）</p>
--	--

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点      4点      3点      2点      1点					未記入	計	加重平均点	今回判定	前回判定
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない					
実数	99	127	32	14	8	3	283	4.054	A	A
構成比	35.0	44.9	11.3	4.9	2.8	1.1	100			

●市民からの主な記述意見

・ビオトープ、ゴミ等環境面もやってほしい。

### ○2-3 学校生活支援事業について

●前回評価いただいた、取り組み内容です。

通常学級に在籍する有障害児童生徒に対し、障害の状況に応じ個別に指導と援助を行います。  
学校からの要望が非常に多く、学校生活支援員は平成17年度の14人から18年度は23人に増員しています。

●左の取り組み実績(平成18年度末状況)

平成18年度当初は23人の学校生活支援員でスタートしましたが、学校側のニーズに応え学校教育の充実を図るため、18年6月補正で5名増員し、28名体制で指導と援助を行いました。(事業費45,944千円)

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない		
実数	136	112	28	3	2	2	283
構成比	48.1	39.6	9.9	1.1	0.7	0.7	100

加重平均点	今回判定	前回判定
4.342	A	A

●市民からの主な記述意見

・今、学校現場はさまざまな問題を抱えている生徒が多く、生活支援員は、まだまだ不足しています。

### 3. 生き生きと希望を持って活躍できるまちづくりを進める(産業・雇用)

#### ○3-1 集落営農法人化推進事業について

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>小規模な農家や兼業農家も担い手となる営農組織を構成する一員となることのできるよう、集落を基礎とした営農組織の育成と法人化を推進します。</p> <p>■大仙市集落営農・法人化支援センターを設置し、集落組織の育成・法人化を図ります。</p> <p>■19年度から実施される「経営所得安定対策等大綱」の周知徹底を図ります。</p> <p>■集落営農・法人化推進活動支援補助、法人設立費用の一部を助成します。</p> <p>■営農組織に対する活動費を交付します。</p>	<p>●左の取り組み実績(平成18年度末状況)</p> <p>(1) 集落営農支援センターの専門指導員5人(H18.3～H19.3)を中心に、説明会、座談会を633回開催(参加農業者数9,463人)するなど、集落営農の育成・法人化に努めました。</p> <p>(2) パンフレットや説明資料等を作成し、経営所得安定対策の啓発活動を行いました。この結果、法人28経営体、集落営農組織60経営体が設立しました。</p> <p>(3) 新設の組織62経営体に対し、20万円の補助金を交付しました。</p>
---	---

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点			
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない	未記入	計	
実数	81	101	71	20	8	2	283	
構成比	28.6	35.7	25.1	7.1	2.8	0.7	100	

加重平均点	今回判定	前回判定
3.808	A	B

●市民からの主な記述意見

- ・私達は18年9月に農業法人を設立し、田の良い所へ転作しました。今まで減反していた所を復元しましたが、大変な事業でした。今後このような現状に対し何とか市の助成金でもお願いしたいです。
- ・農家でない者は農業施策の中身が良くわからない。答えにくい。

#### ○3-2 産地づくり推進事業について

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>水田農業改革対策において策定する大仙市水田農業ビジョンの目的を達成するため、9種類のメニューによる市単独補助事業を設定し農業者をサポートします。</p> <p>対象は目標面積の超過分に対する助成、団地化に対する助成、有機栽培に対する助成ほか6つの事業です。</p>	<p>●左の取り組み実績(平成18年度末状況)</p> <p>大仙市水田農業ビジョンの目的を達成するため、9種類のメニューによる市単独補助事業を設定し、農業者をサポートしました。</p> <p>各事業の助成額は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内調整事業 64,933千円</li> <li>・担い手土地集積推進事業 13,876千円</li> <li>・大規模団地化確立支援事業 17,780千円</li> <li>・農作物生産出荷促進事業 14,508千円</li> <li>・有機農法確立支援事業 11,708千円</li> <li>・農地流動化促進事業 26,469千円</li> <li>・酒造好適米生産性向上推進事業 639千円</li> <li>・振興作物栽培促進事業 実績なし</li> <li>・水田農業推進協議会補助事業 4,500千円</li> </ul> <p style="text-align: right;">(合計 154,413千円)</p>
---	--

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
実数	75	115	69	16	4	4	283
構成比	26.5	40.6	24.4	5.7	1.4	1.4	100

加重平均点
3.864

今回判定
A

前回判定
B

●市民からの主な記述意見

・市単独補助事業、今年度ありません。基幹産業である農業の振興のためには必要と思います。

○3-3 畑作園芸振興事業について

●前回評価いただいた、取り組み内容です。	●左の取り組み実績(平成18年度末状況)
<p>農家の初期投資を軽減し、特に畑作・施設園芸等への新規取り組み農家の拡大への意欲向上をねらい市単独事業を実施します。(助成対象上限事業費100万円、補助率は1/4以内)</p> <p>対象事業は、転作田を含む畑作・施設園芸用施設・機械、資材・種苗等となっています。</p>	<p>畑作・施設園芸等への新規取り組み農家に対し、初期投資を軽減するため補助を行いました。</p> <p>助成額は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大曲地域 1,547千円</li> <li>・南外地域 1,427千円</li> <li>・中仙地域 3,446千円</li> <li>・太田地域 188千円</li> </ul> <p>(合計 6,608千円)</p>

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
実数	61	125	72	19	3	3	283
構成比	21.6	44.2	25.4	6.7	1.1	1.1	100

加重平均点
3.793

今回判定
A

前回判定
B

●市民からの主な記述意見

・流通機構の充実(農業だけに頼らない)

○3-4 企業誘致振興対策費について

●前回評価いただいた、取り組み内容です。	●左の取り組み実績(平成18年度末状況)
<p>市内の工業団地に積極的な企業誘致を図り、雇用の拡大と若者の定住促進を目指します。</p> <p>市内の企業との情報交換等による事業拡大のための支援策を検討します。</p>	<p>工業団地の分譲については、立地済企業3社に対し6,584㎡の分譲を行いました。</p> <p>また、新規立地及び事業拡大への支援については、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 空き工場再利用助成金適用の新規立地企業 1社 (雇用増27名)</li> <li>(2) 工業等振興条例適用の操業開始企業 2社 (雇用増14名)</li> <li>(3) 工業等振興条例計画書提出企業 2社 (雇用増9名)</li> <li>(4) 空き工場再利用助成金の交付 1社</li> <li>(5) 工業団地の進入路新設工事</li> </ol> <p>などを行い、雇用の拡大と若者の定住促進に努めました。</p>

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
実数	161	86	27	5	3	1	283
構成比	56.9	30.4	9.5	1.8	1.1	0.4	100

加重平均点	今回判定	前回判定
4.408	A	A

●市民からの主な記述意見

- ・若者達に対し、仕事ができる場を与えて下さい。仕事が無く都会へ行ってしまう人達が多く、秋田はさびれてしまいます。
- ・若者が定住できるまちづくりと言っているが、企業誘致し雇用の促進が先決と思います。
- ・中小企業誘致は好不況に左右されリスクが大きい。市の特性（農林）を活かした付加価値が高い産業必要。

○3-5 観光ガイドボード(案内看板)事業について

●前回評価いただいた、取り組み内容です。

市内の観光スポットを把握できるように観光誘導看板を活用し、観光振興を図ります。  
観光誘導サインの改善方法の調査や既存の観光案内看板・観光ガイドボードの維持管理などを行います。

●左の取り組み実績(平成18年度末状況)

観光資源の有機的な連携を図ることを目的に、観光案内誘導サインの改善方策についての調査計画業務を委託しました。(契約額 1,470千円)  
なお、既存看板の維持管理(電気料、看板敷地料など)には、1,069千円を要しました。

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
実数	90	132	38	17	5	1	283
構成比	31.8	46.6	13.4	6.0	1.8	0.4	100

加重平均点	今回判定	前回判定
4.011	A	A

●市民からの主な記述意見

- ・県外PR必要。
- ・観光ガイドボードの工夫は当然必要ですが、観光地・その施設の内容を充実させ、リピーターを増やす努力がもっと必要なことは言うまでもありません。”看板倒れ”にならないように。

## 4. 生活基盤が整ったまちづくりを進める(都市基盤)

### ○4-1 地域交通対策検討事業について

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>交通弱者とされる高齢者、障害者等の交通手段の確保と公共交通空白地域において実施している乗合タクシーやシャトルバス等を参考に、新たな交通システムを検討します。</p>	<p>●左の取り組み実績(平成18年度末状況)</p> <p>平成19年度内に大仙市としての交通システムに関する一定の方向付けを定めるため、地域の関係者の意見を広く反映させながら検討できる場として「大仙市地域公共交通会議」を設置しました。</p> <p>さらに、交通空白地域の解消を目的に検討材料とするため、市民2,000人を対象に市民アンケートを2月1日～20日までの期間で実施し、回答率は60%(約1,180人)と多くの意見が寄せられました。</p>
---	---

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計	加重平均点	今回判定	前回判定
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない					
実数	126	113	27	7	1	9	283	4.299	A	A
構成比	44.5	39.9	9.5	2.5	0.4	3.2	100			

●市民からの主な記述意見

- ・市内の中心から離れていて、私みたいに車の運転もできないが、年と共に医者に行くのが多くなって来る年になりますと、交通の良い市を作っていただきたいとお願ひします。
- ・高齢者が増加するにともない、地域交通対策は実施してほしい。

### ○4-2 地方道路交付金事業、地方特定道路整備事業について

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>主要な公共施設や都市機能に対する交通の利便性向上を目指し、国道や県道への接続を勘案した幹線道路として整備します。</p> <p>■地方道路交付金事業(古四王際飯詰線、黒森山線、中仙4号線)</p> <p>■地方特定道路整備事業(宮林線、仙北45号線)</p>	<p>●左の取り組み実績(平成18年度末状況)</p> <p>(1)古四王際飯詰線は、測量及び用地調査を実施しました。</p> <p>(2)黒森山線は、道路土工(軟岩掘削)及び法面整形を実施しました。</p> <p>(3)中仙4号線は、道路改良舗装工事を実施しました。</p> <p>(4)宮林線は、路線測量を実施しました。</p> <p>(5)仙北45号線は、道路改良舗装工事を実施しました。事業費は、合わせて424,723千円を要しました。</p>
--	--

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計	加重平均点	今回判定	前回判定
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない					
実数	74	125	54	22	5	3	283	3.861	A	A
構成比	26.1	44.2	19.1	7.8	1.8	1.1	100			

●市民からの主な記述意見

- ・補修事業は必要と思うが、あまり利用頻度の少ない路線についての高速道路並みの新規路線はあまり意味がなく、それよりも街路灯の設置をし防犯防止に力を注ぐべきと思う。
- ・利便性のみを追求し環境・財源等疎かになっている。



### ○4-3 道路新設改良事業について

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>市民が日常的に利用する生活道路を整備します。 大曲地域（27路線）、神岡地域（3路線）、西仙北地域（2路線）、中仙地域（7路線）、協和地域（7路線）、南外地域（4路線）、仙北地域（2路線）、太田地域（3路線）</p>	<p>●左の取り組み実績(平成18年度末状況)</p> <p>市民生活の基本的なインフラに当たる生活道路の整備を、次のとおり実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大曲地域（27路線）</li> <li>・西仙北地域（3路線）</li> <li>・協和地域（9路線）</li> <li>・仙北地域（3路線）</li> <li>・神岡地域（3路線）</li> <li>・中仙地域（8路線）</li> <li>・南外地域（5路線）</li> <li>・太田地域（4路線）</li> </ul>
---	--

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない		
実数	115	117	30	19	2	0	283
構成比	40.6	41.3	10.6	6.7	0.7	0.0	100

加重平均点	今回判定	前回判定
4.145	A	A

●市民からの主な記述意見

- ・当地域の通学路の横断歩道は消えたまま、道路の穴もそのままです。ほとんど車の通らない道路を延ばすより、まず生活に身近な道路を整備してほしいと思います。
- ・道路は整備してもらえれば大変嬉しいのですが、実際自分の家周辺は住宅数のわりに立派な道路が多すぎて使用頻度と維持費が反比例で、これでは多少不便でも道路を増やさない方が財政的にいいのではないかと思うことがしばしばある。

### ○4-4 大曲駅前第二地区土地区画整理事業、住宅市街地総合整備事業について

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>市の中心市街地である大曲駅前地区（丸の内町、大花町）の土地利用を整備し、商店街の形成や良好な居住環境を創出します。</p> <p>■大曲駅前第二地区土地区画整理事業 施行地区面積：25.7ヘクタール、施工期間：平成元年度～24年度</p> <p>■住宅市街地総合整備事業 施行地区面積：6.36ヘクタール、施工期間：平成16年度～24年度</p>	<p>●左の取り組み実績(平成18年度末状況)</p> <p>(1)全体の事業費について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成元年～平成17年度 17,833,088千円</li> <li>・平成18年度 2,725,427千円</li> </ul> <p>※総事業費259億3千万円に対する平成18年度までの進捗率は約79%となっています。</p> <p>(2)事業の内訳について</p> <p>①建物移転補償費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成元年～平成17年度 11,414,981千円（327戸）</li> <li>・平成18年度 2,070,657千円（52戸）</li> </ul> <p>※全体移転対象戸数549戸に対する平成18年度までの進捗率は約69%となっています。</p> <p>②道路築造費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成元年～平成17年度 1,204,749千円（3,122.06m）</li> <li>・平成18年度 308,684千円</li> </ul> <p>（都市計画道路146m、区画道路180.58m）</p> <p>※計画延長7,096.79mに対する平成18年度までの進捗率は49%となっています。</p> <p>③水路築造費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成元年～平成17年度 328,404千円（577.66m）</li> <li>・平成18年度 81,485千円（90.4m）</li> </ul> <p>※計画延長1,011.80mに対する平成18年度までの進捗率は66%です。</p>
--	---

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない		
実数	49	103	77	32	21	1	283
構成比	17.3	36.4	27.2	11.3	7.4	0.4	100

加重平均点	今回判定	前回判定
3.450	B	B



●市民からの主な記述意見

・大曲駅前整備の効果がみえない様な気がする。駅前の活性化は必要と思うが、その効果の出る整備が必要。  
 ・対策地区を全部更地にする必要があるのか大変疑問に思う。事業を早急に見直し、身の丈にあった事業にすべきだ。

○4-5 まちづくり交付金事業

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>■大曲駅周辺地区              秋田新幹線駅としてふさわしい「大仙市の顔」としての大曲駅周辺地区の市街地を整備します。</p> <p>■神岡地区              神宮寺駅周辺、下川原地区の2つを核とする地域交流拠点の創造と地域特性を活かした良好な居住環境を整備します。</p> <p>■旧街道周辺地区（中仙）              旧街道の街並み保存と歩行者空間の確保、JR駅舎・周辺機能の整備による市街地を再生します。</p> <p>■羽後境駅周辺地区（協和）              羽後境駅周辺の交通機能、住環境、地域交流拠点等の整備による市街地を再生します。</p>	<p>●左の取り組み実績（平成18年度末状況）</p> <p><b>（1）大曲駅周辺地区</b>              平成18年度から22年度までの計画で、概算の事業費は1,054,000千円です。18年度は用地測量、道路設計、まちづくり協議会の運営等を実施し、事業費は21,000千円でした。なお、総事業費に対する進捗率は2%です。</p> <p><b>（2）神岡地区</b>              平成16年度から平成20年度までの計画で、概算の事業費は2,210,000千円です。18年度は駅周辺地区施設の設計、下川原地区各施設の設計・整備・道路築造、まちづくり推進協議会の運営等を実施し、事業費は410,000千円です。なお、総事業費に対する進捗率は58.6%です。</p> <p><b>（3）旧街道周辺地区</b>              平成16年度から20年度までの計画で概算事業費は1,527,000千円です。18年度は、道路の土地買収、工事などを実施し、事業費は2億円でした。なお、総事業費に対する進捗率は37.3%です。</p> <p><b>（4）羽後境駅周辺地区</b>              平成17年度から21年度までの計画で、概算の事業費は2,103,000千円です。18年度は道路の土地買収と物件補償、協和体育館の建設、まちづくり推進協議会の運営等を実施し、事業費760,791千円でした。なお、総事業費に対する進捗率は45.5%です。</p>
--	---

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない		
実数	48	119	73	29	13	1	283
構成比	17.0	42.0	25.8	10.2	4.6	0.4	100

加重平均点  
**3.567**

今回判定  
**A**

前回判定  
**B**

●市民からの主な記述意見

・大曲駅周辺については「花火」というイベントの関係上必要と思うが、その他地域における事業については、少子化による人口減少、それに伴う歳入の減少等から長期的にみてその目的や利用価値があるか、その地域の住民が果たしてその事業を望んでいるか否か疑問です。進捗率50%未満の現在、中止すべきではないかと思慮します。

○4-6 水道事業、簡易水道事業について

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>水道の未普及地域の解消を図るため、真木ダム代替案で示された水道水源を参考に、市全域にわたる水道事業基本計画を18・19年度の2か年で策定します。</p> <p>■上水道事業（玉川浄水場揚水試験、配水管拡張・改良・移設等工事、大曲橋架け替えに伴う詳細設計業務）</p> <p>■簡易水道事業（仙北南地区、川前地区、刈和野地区、大沢郷地区、入角地区、沢庄地区）、淀川地区簡易水道水源電気探査業務委託</p>	<p>●左の取り組み実績（平成18年度末状況）</p> <p>水道の未普及地域の解消を図るため、真木ダム代替案で示された水道水源を参考に、市全域にわたる水道事業基本計画の策定を進めています。</p> <p>（1）上水道事業については、玉川浄水場揚水試験、配水管拡張・改良・移設等工事を実施しました。なお、金谷ポンプ場の移転先が決まらなかったため、大曲橋架け替えに伴う詳細設計業務は実施できませんでした。</p> <p>（2）簡易水道事業に関しては、仙北南地区、川前地区、刈和野地区、大沢郷地区、入角地区、沢庄地区で計画どおり実施しました。淀川地区簡易水道水源電気探査業務委託は、計画どおり実施しました。</p>
--	---

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない		
実数	131	109	32	6	4	1	283
構成比	46.3	38.5	11.3	2.1	1.4	0.4	100

加重平均点	今回判定	前回判定
4.266	A	B

●市民からの主な記述意見

- ・上水道への投資はしばらく中止してでも、下水道インフラの充実を優先させるべきと思います。
- ・玉川は、昔から害があると言われていますが、不安を取り除いて欲しいです。
- ・各地域で水道基本料金が違うのはなぜか。市民の税金で整備した水道ならば、どの地域も同じ料金にするべきではないか。

○4-7 公共下水道整備事業、農業集落排水事業、浄化槽設置事業等について

●前回評価いただいた、取り組み内容です。

公共用水域の水質の保全に努め、快適で環境にやさしい生活環境を創出するため、地域特性に応じた汚水処理施設の整備を進めます。

- 公共下水道  
(大曲、神岡、西仙北地域)
- 特定環境保全公共下水道  
(中仙、協和、南外、仙北地域)
- 農業集落排水事業  
(大曲1地区、神岡1地区、中仙1地区、協和3地区、仙北1地区、太田2地区)
- 特定地域生活排水処理事業  
(西仙北、協和地域)
- 合併処理浄化槽整備事業  
(協和を除く7地域で260基)

●左の取り組み実績(平成18年度末状況)

- (1) 公共下水道事業  
大曲地域(福見町・日の出町・丸の内)、神岡地域(蓮沼・本郷野・荒屋他)で管渠工事と西仙北地域(昭和町・山北ノ沢)で管渠工事と処理場増設工事を実施し、事業費は890,192千円です。
- (2) 特定環境保全公共下水道事業  
中仙地域(豊川字街道ノ上・街道北)、仙北地域の管渠工事と協和地域の事業認可変更、南外地域(赤平台野)の管渠工事と県代行事業負担金で、事業費は284,811千円です。
- (3) 農集落排水事業  
大曲地域(大曲西部地区)、中仙地域(田ノ尻地区)、協和地域(沢庄地区)、太田地域(太田今泉地区)の管渠工事と処理場工事、神岡地域(神岡西部地区)、協和地域(下淀川、峰吉川地区)、仙北地域(板見内地区)の管渠工事と太田地域(三本扇地区)の測量試験委託で、事業費は2,065,694千円です。
- (4) 特定地域生活廃水処理事業  
西仙北地域に浄化槽設置28基、協和地域に浄化槽設置12基の40基設置し、事業費は33,708千円です。
- (5) 合併処理浄化槽整備事業  
協和地域を除く7地域に221基の浄化槽を設置し、事業費は138,137千円です。  
(全体事業費は、3,412,542千円)

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない		
実数	136	115	25	5	1	1	283
構成比	48.1	40.6	8.8	1.8	0.4	0.4	100

加重平均点	今回判定	前回判定
4.348	A	A

●市民からの主な記述意見

- ・西根地区(南波巻地区)ですが水道に異物が入って水も多少濁ったりしています。何年か前にやっていただき汚れにびっくりしました。又一度お願いします。利用件数が5軒と少ないので中々来ていただけません。
- ・住む環境から継続すべきだ。

## 5. 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくりを進める(安全・安心)

### ○5-1 ごみ収集事業について

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>地域ごとにごみの収集回数が異なるなど、サービスが不均一であった体制を統一します。  <b>■可燃ごみ週2回、■不燃ごみ月1回、■資源ごみ(ビン・缶)月2回、■資源ごみ(ペットボトル)月1回、■資源ごみ(古紙)月1回</b>                  また、ごみ収集車の火災事故を防止するため、全戸にガス抜き器具を配布します。</p>	<p>●左の取り組み実績(平成18年度末状況)</p> <p>地域ごとに収集回数が異なりサービスが不均一であった収集体制を、大曲、神岡、西仙北、南外、仙北、太田の6地域で計画どおり統一しました。(なお、協和地域においては平成19年度から統一されました。また、中仙地域においては、処理主体が現在の仙北市から大仙美郷環境事業組合へ移行する平成20年度から統一する予定です。)                  また、ガス抜き器具については、平成18年7月1日に全戸配布しました。</p>
---	---

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点			加重平均点	今回判定	前回判定
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない	未記入	計			
実数	191	78	10	1	2	1	283	4.613	A	A
構成比	67.5	27.6	3.5	0.4	0.7	0.4	100			

●市民からの主な記述意見

- ・ガス抜き器具の全戸配布については、必要ないと思う。全戸配布する費用を認めない。
- ・ごみ収集等、全地域統一されたことは、地域格差をなくすためにも良いことだと思う。
- ・未だに認識のあまい人が多い。指導の徹底を。
- ・不燃ゴミの収集を月2回に、ペットボトルをもう一回増やして欲しい。

### ○5-2 消防施設・設備整備事業について

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>市全域を考慮した消防水利及び消防防災施設整備の計画的配置を進めます。                  18年度は、防火水槽7基、消火栓4か所、小型動力ポンプ6台、ポンプ等格納庫7棟、その他の整備を進めます。                  また、消防団の士気高揚等を目的に、すべての団員に半てんを支給します。</p>	<p>●左の取り組み実績(平成18年度末状況)</p> <p>市全域を考慮した消防水利等の計画的配置を進め、防火水槽7基、消火栓6か所、小型動力ポンプ6台、ポンプ等格納庫7棟、その他の整備を行いました。                  また、消防団の士気高揚等を目的に、はんでん、制帽を未支給の団員に支給しました。(1,300着)</p>
---	--

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点			加重平均点	今回判定	前回判定
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない	未記入	計			
実数	137	106	28	9	3	0	283	4.290	A	A
構成比	48.4	37.5	9.9	3.2	1.1	0.0	100			

●市民からの主な記述意見

- ・私達の住んでいる所では消防がどうなっているのかわからない。避難所は小学校みたいですが近所の付き合いもなく、災害時はどうしたらいいのでしょうか。いくら取り組み内容と実績があってもそれはみんなはどう思っているのでしょうか。
- ・日頃の消火栓のみまわりをお願いします。

## 6. 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくりを進める(地域情報・交流)

### ○6-1 移動通信用鉄塔施設整備事業について

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>市民がどこでも携帯電話を使用できる環境を整備するため、不感となっている地域を順次解消していきます。</p> <p>18年度は、西仙北地域（土川地区）に1基移動通信用鉄塔を建設します。また、19年度には協和地域1基、南外地域2基、20年度には西仙北地域1基、南外地域1基の建設を予定しています。</p>	<p>●左の取り組み実績(平成18年度末状況)</p> <p>平成18年度は、西仙北地域（土川地区）に1基移動通信用鉄塔を建設し、平成19年4月1日からサービスを開始しました。</p> <p>なお、平成19年度は協和地域1基、南外地域3基を予定しており、順次不感地域の解消に努めていきます。</p>
---	---

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点		4点		3点		2点		1点		未記入	計	加重平均点	今回判定	前回判定
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない	必要ない									
実数	147	98	29	5	4	0	283	4.339	A	A					
構成比	51.9	34.6	10.2	1.8	1.4	0.0	100								

●市民からの主な記述意見

- ・事業者に対する援助にならないよう、又、地域の現状を見て推進することが必要と思う。
- ・市の税金でやる必要はない。なんでもかんでもやる必要ない。
- ・県道土川線の携帯電話がまだ「圏外」であり、神岡や西仙北と角館の通勤者が緊急連絡を要するときに不便なことがあるようです。不感地域の解消をお願いします。

### ○6-2 男女共同参画推進事業について

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>家庭や地域、職場等に存在する性別役割分担意識や、男女の生き方を制限している古い習慣等について改めて考える機会を提供し、男女共同参画意識を浸透させるため、市民から川柳及びポスターを募集します。</p>	<p>●左の取り組み実績(平成18年度末状況)</p> <p>市民の方々に、男女共同参画について考えていただくことをねらいとして、川柳・ポスターの作品コンクールを開催しました。</p> <p>市広報とホームページに作品募集の記事を掲載したほか、市内の小・中学校、高校には直接、全校を訪問して応募を依頼したところ、川柳については、高校・一般の部で48点、小・中学生の部で66点、計114点の応募があり、ポスターについては、高校・一般の部で3点、小・中学生の部で34点、計37点の応募がありました。</p> <p>最優秀賞、優秀賞、入賞を選考し、優秀な作品は10月21・22日の秋の稔りフェア会場での展示や、市内全戸にチラシを配布する等、広く市民に紹介しました。</p>
--	---

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点		4点		3点		2点		1点		未記入	計	加重平均点	今回判定	前回判定
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない	必要ない									
実数	48	106	81	26	18	4	283	3.502	A	B					
構成比	17.0	37.5	28.6	9.2	6.4	1.4	100								

●市民からの主な記述意見

- ・男女共同参画意識の浸透は賛成ですが・・・特別役割分担が古い習慣と考えるのはどうでしょうか。男女それぞれが持って生まれた役割を全うした上で、共同参画を考えたらよいのではと思われませんが・・・。
- ・川柳ポスターは、特に中学生には負担になりました。コンクール等を開いたから男女共同参画というのではなく、大人の方が行動を改めてみる必要があると思います。

## 7. 計画の推進にあたって(市民との協働)

### ○7-1 地域振興(地域枠)事業

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>地域が抱えているそれぞれの課題に対し、各地域自治区に設置された地域協議会との協議により、自主的、主体的に市民が行政と一体となって事業を行うため、地域枠予算として、大曲地域に1,000万円、他の7地域に500万円を配分します。</p>	<p>●左の取り組み実績(平成18年度末状況)</p> <p>市が原材料費や重機等の借り上げ料を提供し、地域住民に労働力を提供してもらい協働で事業を行いました。</p> <p>主な事業として、</p> <p>(1) 大曲地域では、町内会と協働で児童館のグラウンド整備、「雄物川のサケ・シンポジウム」など</p> <p>(2) 神岡地域では、ボランティア団体と協働で公園の桜の枝剪定など</p> <p>(3) 西仙北地域では、安全安心看板・標語設置など</p> <p>(4) 中仙地域では、実行委員会と協働で公民館入り口法面への芝桜植栽など</p> <p>(5) 協和地域では、地域住民を巻き込んだ「きょうわミニコンサート」など</p> <p>(6) 南外地域では、ブラックバス駆除を目的とした「バス釣り大会」など</p> <p>(7) 仙北地域では、管理組合と協働で板見内前堰の汚泥堆積除去など</p> <p>(8) 太田地域では、小松由佳さんを講師に招いたふるさと講演会など</p> <p>地域の特色を活かした各種事業を行いました。</p>
---	---

●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点		4点		3点		2点		1点		未記入	計	加重平均点	今回判定	前回判定
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない										
実数	80	121	48	20	8	6	283	3.884	A	B					
構成比	28.3	42.8	17.0	7.1	2.8	2.1	100								

●市民からの主な記述意見

- ・地域枠でコミュニティ活動のイベント開催時には市役所の職員も参加し、肌で感じて共に地域づくりしてほしい。
- ・予算の組み方に関して、公平感を持たせることも大事であるが、地域毎の特性を生かすべく、大枠を地域に分配し、地域毎に使用を決定し特色を出していくことも必要だと思う。地域振興事業費は是非増額してほしい。

### ○7-2 自治会育成支援補助金

<p>●前回評価いただいた、取り組み内容です。</p> <p>自治会の自治活動及び地域づくり活動等、並びに自主運営している自治会館等の維持管理費の一部を補助します。</p>	<p>●左の取り組み実績(平成18年度末状況)</p> <p>全市で480の自治会(町内会・集落会等)に補助し、防犯交通安全研修会、防犯看板の設置、町内パトロール、町内危険箇所・交差点での交通指導等のような事業を自主的に実践してもらいました。</p> <p>各地域の助成額は次のとおりです。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>・大曲地域</td> <td>118件</td> <td>6,920,250円</td> </tr> <tr> <td>・神岡地域</td> <td>28件</td> <td>2,378,250円</td> </tr> <tr> <td>・西仙北地域</td> <td>74件</td> <td>4,754,250円</td> </tr> <tr> <td>・中仙地域</td> <td>94件</td> <td>5,425,875円</td> </tr> <tr> <td>・協和地域</td> <td>49件</td> <td>3,466,000円</td> </tr> <tr> <td>・南外地域</td> <td>42件</td> <td>1,967,375円</td> </tr> <tr> <td>・仙北地域</td> <td>50件</td> <td>2,600,750円</td> </tr> <tr> <td>・太田地域</td> <td>25件</td> <td>1,957,125円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>(全市で480件 29,469,875円)</td> </tr> </table>	・大曲地域	118件	6,920,250円	・神岡地域	28件	2,378,250円	・西仙北地域	74件	4,754,250円	・中仙地域	94件	5,425,875円	・協和地域	49件	3,466,000円	・南外地域	42件	1,967,375円	・仙北地域	50件	2,600,750円	・太田地域	25件	1,957,125円			(全市で480件 29,469,875円)
・大曲地域	118件	6,920,250円																										
・神岡地域	28件	2,378,250円																										
・西仙北地域	74件	4,754,250円																										
・中仙地域	94件	5,425,875円																										
・協和地域	49件	3,466,000円																										
・南外地域	42件	1,967,375円																										
・仙北地域	50件	2,600,750円																										
・太田地域	25件	1,957,125円																										
		(全市で480件 29,469,875円)																										



●この取り組みは今後も継続が必要と考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計
	必要	ある程度必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない		
実数	124	116	25	10	2	6	283
構成比	43.8	41.0	8.8	3.5	0.7	2.1	100

加重平均点
4.264

今回判定
A

前回判定
A

●市民からの主な記述意見

- ・予算をもっと多くすべき。一番地域に密着している事柄であり、まだまだ色々な事業ができるはず。やはり予算が出ないから限られた事業しかできないのではないか。
- ・自治会という名前の通り、将来はもっと自主管理すべきだ。

## V. まとめ

### 1. 評価の変化について

二次評価では、対象とした26事業のうち、A判定24事業、B判定2事業となりました。下表は、それぞれの事業を平均点の高い順に並べたものです。

#### 【一次評価】

順位	事業名	加重平均点	判定
1	5-1 ごみ収集事業	4.249	A
2	2-3 学校生活支援事業	4.179	A
3	1-3 地域児童健全育成推進事業	4.088	A
4	6-1 移動通信用鉄塔施設整備事業	4.027	A
5	2-1 小中学校芸術鑑賞事業	4.009	A
6	1-2 すこやか子育て手当金支給事業	4.007	A
7	5-2 消防施設・設備整備事業	4.000	A
8	4-1 地域交通対策検討事業	3.935	A
9	1-1 乳幼児、就学児(小児)医療費市独自助成事業	3.933	A
10	2-2 体験的学習時間支援事業	3.925	A
11	4-3 道路新設改良事業	3.904	A
12	4-7 公共下水道整備事業、農業集落排水事業、浄化槽設置事業等	3.882	A
13	4-6 水道事業、簡易水道事業	3.816	A
14	1-4 敬老の日事業	3.750	A
15	4-2 地方道路交付金事業、地方特定道路整備事業	3.685	A
16	7-2 自治会育成支援事業	3.625	A
17	3-4 企業誘致振興対策費	3.551	A
18	3-5 観光ガイドボード(案内看板)事業	3.517	A
19	7-1 地域振興(地域枠)事業	3.491	B
20	4-5 まちづくり交付金事業	3.484	B
21	1-5 温泉ふれあい入浴事業	3.463	B
22	6-2 男女共同参画推進事業	3.398	B
23	3-3 畑作園芸振興事業	3.292	B
24	4-4 大曲駅前第二地区土地区画整理事業、住宅市街地総合整備事業	3.290	B
25	3-1 集落営農法人化推進事業	3.256	B
26	3-2 産地づくり推進事業	3.252	B

#### 【二次評価】

順位	事業名	加重平均点	判定
1	5-1 ごみ収集事業	4.613	A
2	3-4 企業誘致振興対策費	4.408	A
3	1-3 地域児童健全育成推進事業	4.375	A
4	4-7 公共下水道整備事業、農業集落排水事業、浄化槽設置事業等	4.348	A
5	2-3 学校生活支援事業	4.342	A
6	6-1 移動通信用鉄塔施設整備事業	4.339	A
7	4-1 地域交通対策検討事業	4.299	A
8	5-2 消防施設・設備整備事業	4.290	A
9	1-1 乳幼児、就学児(小児)医療費市独自助成事業	4.266	A
9	4-6 水道事業、簡易水道事業	4.266	A
11	7-2 自治会育成支援事業	4.264	A
12	1-2 すこやか子育て手当金支給事業	4.145	A
12	4-3 道路新設改良事業	4.145	A
14	2-1 小中学校芸術鑑賞事業	4.057	A
15	2-2 体験的学習時間支援事業	4.054	A
16	3-5 観光ガイドボード(案内看板)事業	4.011	A
17	7-1 地域振興(地域枠)事業	3.884	A
18	3-2 産地づくり推進事業	3.864	A
19	4-2 地方道路交付金事業、地方特定道路整備事業	3.861	A
20	3-1 集落営農法人化推進事業	3.808	A
21	3-3 畑作園芸振興事業	3.793	A
22	4-5 まちづくり交付金事業	3.567	A
23	1-4 敬老の日事業	3.557	A
24	6-2 男女共同参画推進事業	3.502	A
25	4-4 大曲駅前第二地区土地区画整理事業、住宅市街地総合整備事業	3.450	B
26	1-5 温泉ふれあい入浴事業	3.226	B

※事業名の最初の数字は基本構想の分類、次は分類別アンケートの順番を意味しています。

### (1) 判定が上がった事業

一次判定	二次判定	一次平均	二次平均	事業名
・ B	→ A	(3.256	→ 3.808)	「3-1 集落営農法人化推進事業」
・ B	→ A	(3.252	→ 3.864)	「3-2 産地づくり推進事業」
・ B	→ A	(3.292	→ 3.793)	「3-3 畑作園芸振興事業」
・ B	→ A	(3.484	→ 3.567)	「4-5 まちづくり交付金事業」
・ B	→ A	(3.398	→ 3.502)	「6-2 男女共同参画推進事業」
・ B	→ A	(3.491	→ 3.884)	「7-1 地域振興（地域枠）事業」

一次調査の結果より6事業の判定が上がりました。特に農業関係においては、評価対象とした全3事業で、加重平均点がそれぞれ0.5点以上上昇し判定が上がりました。農業は当市の主要産業であります。米価の低下や担い手不足等厳しい状況にある中で、新たな制度に対応できる支援策等への市民の期待が表れた結果と考えられます。

「7-1 地域振興（地域枠）事業」については、市民と行政との協働のまちづくりに対して市民の意識が高まってきた結果と受け止めることができ、今後、より市民による地域特性を活かしたまちづくりの促進が期待できます。

また、「4-4 企業誘致対策費」は、加重平均点が前回から全事業中最高の0.857上昇しており、改めて、若者の県外流出に歯止めのかからない現状への危機感と施策の効果に期待している市民の思いが伝わる結果となりました。

### (2) 判定が下がった事業

判定が下がった事業はありませんでしたが、

- ・ A → A (3.750 → 3.557) 「1-4 敬老の日事業」
- ・ B → B (3.463 → 3.226) 「1-5 温泉ふれあい入浴事業」

の平均点がそれぞれ前回から、0.193、0.237下降しています。

当市における高齢化率が上昇傾向にある中で、高齢者施策に対する評価が下がるという厳しい結果となりました。市民から頂いた多くの意見を参考にしながら、事業内容の充実や再編を行い、高齢者の方々に喜ばれる施策を展開していくことが必要となります。

### (3) 評価の変化から

今回の評価結果においても一次評価の結果と同様「生活に関わるなど身近で効果を実感しやすい事業に対する評価が高い」という傾向が表れていますが、それに加え、今回の調査票には各事業の実績（平成18年度末）を記載したことから、「実績をみて、事業に対する期待感が持てた」ものについても評価が上がったと考えられます。

しかしながら、やはり「事業内容がわからない」や「身近なものでないため判断できない」といった意見が多く寄せられました。そういった意見を無くし「どちらでもない」の選択を減少させることが、市民の意見を集約していく上で重要であり、事業の目的や趣旨、概要、もたらしたい効果をどのように伝えていくかが、大きな課題となります。



## 2. 手法としての「市民による市政評価」の今後

### (1) 市民の反応について

「市民による市政評価」は、記述が多い複雑な調査にもかかわらず、一次調査では42.7%、二次調査では72.4%の回収率となりました。また、自由記載欄には各事業に対する意見、調査方法や市政全般に関する意見等が多く寄せられました。

本調査は市政への市民参加促進の役割も担っており、回収率の高さや多くの記述意見が寄せられたことから、参加機会さえあれば市民の市政参加の意欲は高いことがうかがえます。よって、市民が市政に参加しやすい環境をつくりだすことが重要であり、さまざまな分野において市民の意欲が発揮されるように多くの市政参加の機会を提供していくことが必要となります。

### (2) 回答者の偏りについて

本報告書「Ⅲ. 回答者の特徴」でも示したとおり、若い層の回答が少ないことが問題となります。

今後の大仙市を担っていく若い世代の意見は非常に重要であり、行政に対する関心を高め、評価票の簡素化やホームページの活用等、調査方法を工夫するなどして、回収率の上昇に努める必要があります。

また、表明した意見が何らかの形で反映されていくことが、市民の関心を維持するために最も重要であると考えます。

### (3) 今後の方向について

市民評価の結果については、庁内関係部署に周知するとともに市民に公表します。

各事業に対する期待度（継続の必要性）については、期待度の低い事業を把握し、所管課とともに市民から期待されない原因の分析と今後の展開方法を検討します。

今回は、7分野26事業を対象としましたが（平成19年度は、22施策27事業を対象として一次調査を実施）、今後は、分野別や目的別など評価対象を精査して実施することも必要と考えられます。こうした手法の継続は、市民と行政の新しい関係づくりの一端を担うと期待できます。